

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和7年8月29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社マルストラントランスポーテーション
所 在 地	〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島 92 番地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 村上 龍治
担 当 者 連 絡 先	電話：045-306-9740 メール：noriyuki-shishido@marusutransportation.com
ウェブサイト U R L	marusu-t.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

平成10年に設立以来、川崎港を中心に海上コンテナ運送を主体とした港湾運送関連事業及び港湾労働者派遣業を業務としております。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	ゴミの排出量を減らす及びリサイクル活動等 ・被災地復興支援活動/市との大規模災害協定締結(令和元年台風19号において災害ごみの収集運搬を行い、経済復興支援を担う)	・事業系一般廃棄物の削減 【目標】350kg(月間) ・今後も引き続き要請復興支援を行う。
✓環境 ✓社会 ✓経済	・外国人雇用及高齢者/障がい者雇用の促進 ・各団体連携による清掃活動等への参加	・外国人雇用の促進/障がい者雇用 【目標】4.18%/6.39%
✓環境 □社会 □経済	・アイドリングストップの実施等による排気ガスの減少(エコドライブ推奨及び低燃費エンジ車両の導入)	・トレーラーヘッド車による燃費向上 【目標】2.30km/L

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・外国人雇用の促進をしており、責任者による状況把握及び適宜面談を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。責任者による状況把握及び適宜面談を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・所定外労働時間を削減とした女性活躍推進法に基づく行動計画を策定している。								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・責任者による状況把握及び適宜面談を実施している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・定期的なパトロールを実施し、労働環境の適切な整備・把握を行っており、安全会議の実施をしております。		3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・責任者による状況把握及び適宜面談を実施している。		3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・現在障がい者の在籍及び高齢者雇用の取組みをしております。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じた外部研修及びウェブ講習参加者は会社負担としている ・業務上の資格についても会社負担としている（ ken引・フォーク等）			4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・公正な対応をしております。				5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・産業医との連携・確認をしております。		3					8									
	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・事業系廃棄物の排出量削減及びリサイクルの推進を行う。										11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・アイドリングストップ/エコドライブの実施等による排気ガスの減少を進めております。						7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・業務車両及び連絡車両の燃費状況を毎月計測し、達成度を確認					7.2 7.3					12.4	13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14 製品・サービス	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9				6.3				11.6	12.4					
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している								6.6							15			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4										
	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・2014年2月1日よりIS014001の認証を取得し引続き取組んでおります。		3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・HP上に環境方針を掲載しております。												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・【予定】環境配慮型の車両を導入することで再生可能エネルギーに取り組んで行きます。						7.2						13					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・社内で使用する紙類・備品についてリサイクル素材を使用することで天然資源の持続的利用に配慮しております。											12.2	13	14	15			
	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO39001交通安全マネジメントシステムを構築しており、安全輸送体制を実施しております。		3.9										12.4					
21 社会貢献・地域貢献	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・被災地復興支援活動として市との大規模災害協定による被災ごみの運搬作業を行い、経済・社会の復興に携わっております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・神奈川県指定災害時物流支援事業所の認定を神奈川県トラック協会より受けております。			4					9		11	12		14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・各団体連携による清掃活動等に参加しております。			4							11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・官民の行事において業務車両の牽引車を設置し、運転席からの死角体験を実施することで、交通事故削減に努めている。							8	9		11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・かわさきSDGsの認定及びかながわSDGsの登録が行われており、目標達成に向け社内共有をしております。								8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・ISO14001に基づき、環境関連法規・条例一覧表を都度更新し、最新法令改正の把握を行う。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・ISO14001に基づき、事務局を責任者とした環境関連法規・条例一覧表を都度更新し、最新法令改正の把握を行う。																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・【予定】CO2排出量を把握し、カーボンニュートラルへの対策に取り組む																16 17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・【予定】ISO14001、ISO39001及びBCP手順書に基づいてプロセスを整備して行きます。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・【予定】CSRを整備し、HP上にて取組の公表を目指します。																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・【予定】事故や災害等による職場影響を考慮し、対応できるBCP手順書を作成を目指して行きます。									9		11		13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。